

## 2015年9月総括

9月は、酷暑の夏があげた途端、残暑もなく一度に涼しくなり、中盤まで不安定な天候と少ない日照時間で、来店客の伸びがありませんでした。しかし、シルバーウィークで恵まれた日が続き、取り返しました。実績は全店で前年比116%、既存店だけでは108%で、トータルとして平均的な実績でした。しかし注目すべきは、前年2014年9月の前年比(対2013年比)が133%、既存店だけでも(この年は新店が2店しかなかった)131%と、驚異的な伸びを示していたのです。これは、この年のダイヤモンドキーパーが前年比154%と急伸したことが主因です。Keeperの知名度が上がり信用度も上がったので、高額な商品が伸びました。

そんな2014年があって、なお今年の16%増はなおさら価値があると思います。つまり、2年前比では133%×116%=154%。既存店だけでは2年前比で131%×108%=141%と、この9月は、一見平凡な実績増でしたが、実は大健闘だったのです。

特に、今年もダイヤモンドキーパーが前年比120%で、前々年度比では154%×120%=185%と、倍増に近くなっています。知名度アップと技術に対する信頼度アップ、加えてダイヤモンドキーパーを「1年毎のメンテナンスで5年耐久」から「ノーメンテナンスで3年耐久」に、商品コンセプトを変更したことがヒットしたものと考えております。

目前に12月が控え、技術力を再度見直す活動を始めました。キーパーLABOのマネジャーが中心となり、店舗で上達会を行っています。しっかりと技術力を向上し、自信をもってお客様に商品を提供していきます。

### キーパーLABOオープン情報

#### 10月10日(土) キーパー LABO イオンタウン彦根店 (滋賀県彦根市古沢町字古沢255-1)

キーパーLABO 野田店に続き2店目のイオンタウン内のテナントとしてオープン。滋賀県初のキーパーLABOであり、関西では宝塚店に続いて2店目のキーパーLABOです。

国宝彦根城の直近、敷地面積 11,918坪。年間来店客数 280 万人の非常に大きな集客力を持ったイオンタウンです。今流行の服飾店舗「GU」の横に店を構えます。



2015年 9月	今月Keeper施工台数(台)			売上金額(円)			前年 対比	平均 単価	人時 生産
	ピュア ケア	クリスタル	ダイヤ類	洗車・ コーティング	板金・ その他	合計			
札幌店	53	114	37	6,747,630	395,622	7,143,252	110%	11,393	5,570
仙台長町店(新店4ヶ月目)	17	29	11	1,995,771	7,258	2,003,029	-	10,827	4,441
さいたま店	25	39	20	3,861,634	-31,261	3,830,373	147%	8,309	5,004
浦和美園店	29	68	22	4,831,195	23,360	4,854,555	108%	8,592	5,439
草加店	31	78	32	6,911,342	152,349	7,063,691	113%	9,091	5,653
船橋店	26	52	12	3,478,353	52,073	3,530,426	136%	7,987	5,109
野田店(新店7ヶ月目)	16	20	9	2,025,961	39,912	2,065,873	0%	7,825	3,540
柏店	27	41	18	4,090,754	37,279	4,128,033	106%	9,361	5,678
松戸店	44	43	14	4,210,702	14,986	4,225,688	90%	8,003	4,905
松戸東店	30	51	11	3,789,649	2,824	3,792,473	114%	7,852	5,108
足立店	62	109	30	8,408,162	160,839	8,569,001	108%	8,061	5,847
板橋店	39	95	28	7,265,364	57,305	7,322,669	112%	8,919	5,828
世田谷店	29	92	44	8,080,667	1,863	8,082,530	150%	9,917	6,210
八王子店	47	109	23	7,297,183	4,524	7,301,707	101%	8,480	5,747
相模原店	27	61	18	4,522,203	345	4,522,548	89%	8,005	4,945
上溝店	18	42	22	4,313,596	3,054	4,316,650	109%	7,392	4,999
東郷店(新店2年目)	24	19	7	2,213,776	-	2,213,776	174%	6,791	3,659
豊田店	34	68	20	4,694,753	149,299	4,844,052	117%	10,177	5,712
岡崎店	50	59	13	4,286,063	7,492	4,293,555	77%	7,365	4,808
安城店	55	38	19	4,488,779	85,992	4,574,771	107%	9,881	5,499
知立店	26	41	12	3,721,249	12,798	3,734,047	108%	9,335	5,548
刈谷店	39	45	15	4,008,875	11,132	4,020,007	82%	8,089	5,224
半田店(2年目)	16	63	12	3,134,744	14,655	3,149,399	134%	8,773	5,262
大府店	30	37	17	4,907,839	12,722	4,920,561	107%	10,125	5,785
共和店	2	15	5	782,452	2,167,271	2,949,723	109%	28,638	3,994
東海店	67	28	17	5,324,703	65,054	5,389,757	99%	8,865	5,629
高針店(新店2ヶ月目)	18	28	8	1,705,093	-	1,705,093	-	8,744	2,912
鳴海店	43	41	14	3,742,938	26,369	3,769,307	89%	7,788	5,408
大須店	15	62	26	5,144,466	58,177	5,202,643	102%	9,599	5,778
中川店	29	67	13	4,567,443	32,272	4,599,715	109%	8,127	5,251
甚目寺店	37	53	13	3,884,817	13,890	3,898,707	95%	7,989	5,359
一宮店	42	67	21	4,643,287	92,741	4,736,028	158%	9,073	6,387
大垣店(新店7ヶ月目)	15	20	10	1,842,332	12,098	1,854,430	-	10,078	3,839
鈴鹿店	45	81	24	5,762,143	64,945	5,827,088	96%	8,776	5,558
津店(新店6ヶ月目)	14	18	17	2,256,135	25,075	2,281,210	-	10,811	4,374
名張街道店(新店6ヶ月目)	11	10	4	752,662	22,324	774,986	-	7,243	1,945
宝塚店(2年目)	21	61	12	3,895,493	15,469	3,910,962	142%	7,365	4,938
新湊店	41	58	16	4,347,226	7,209	4,354,435	105%	11,369	6,019
合計	1,194	2,022	666	161,937,434	3,819,316	165,756,750	-	8,883	5,249
前年対比	109%	116%	129%	121%	84%	116%	107%	103%	

(上記のうち、前年実績のある既存店舗31店舗のみの前年同月比は108%です)

※ピュア・ケア:ピュアキーパーとコーティングケア、クリスタル:クリスタルキーパー、ダイヤ類:ダイヤモンドキーパーとダブルダイヤキーパー

## SUPER GT REPORT 9月19・20日 第6戦 in スポーツランドSUGO

### ピット作業での思わぬペナルティで、無念の9位。 ウェイトを半減して次戦で巻き返しを図る!!

スーパーGT第6戦が9月19日から20日の2日間にわたり、宮城県仙台市の郊外に位置するスポーツランドSUGOにおいて開催された。37号車Keeper TOM'S RC Fは、3位表彰台も視野に入っていたレース展開ではあったが、ピット作業時にエンジンが停止していない状況で作業を始めたというピット作業違反によりドライブスルーペナルティが与えられ、順位を大きく落として9位でチェッカーを受けた。2ポイントを追加して36ポイントに留まり、シリーズランキングも7位へ後退する結果となった。



#### ハンディキャップをものともせず、 予選4位でLEXUS勢トップタイムを記録

気温25℃、路面温度33℃という残暑の中、予選が開始された。ステアリングを握るのはアンドレア・カルダレリ選手。レーシングタイヤは速く走ることを目的に作られている。走り始めてタイヤを十分に温め、路面への食いつき(グリップという)が最もよいのは3周目頃である。それに合わせるために、各マシンはピットで待機する。

予選1、残り7分となったところで各マシンは一斉にコースインする。37号車Keeper TOM'S RC Fも同じくコースイン。カルダレリ選手はタイヤを温めながら路面状況を確認し、慎重にスピードを上げていく。計測開始1周目、1' 22.302で通過。次の周が勝負どころである。シリーズ 予選2は300クラスで赤旗中断があったために2分遅れて開始された。予選2のステアリングを握るのは新鋭平川亮選手である。平川選手もまた、残り時間7

分を切ったところで最後にコースイン。タイヤを温めつつ徐々にスピードを上げ、計測2周目に1' 12.204のタイムをマーク。カルダレリ選手のタイムには及ばなかったものの予選4位と、またしてもLEXUS勢トップタイムを記録。決勝レースは十分に表彰台を狙えるポジションである。

#### エンジンを停止せずピット作業を行い、違反通告。 順位を大きく落とす結果に

初秋らしく抜けるような青空が広がる中、決勝レーススタート。スタートドライバーはカルダレリ選手。予選順位をキープしたまま、前を走る64号車とバトルを演じながら周回を重ねる。

5周目を過ぎたあたりから300クラスのマシンが絡みだし、コース幅の狭いサーキットのため300クラスといえども抜かすことが難しい。その上、ラップタイムは思うように伸びていかない。24周目に3位に浮上するものの、26周目に起きた500クラスのクラッシュによりセーフティカーが導入される。5周に及ぶセーフティカーランの末、31周目にピットレーンがオープンとなり、レースが再開されると雪崩を打ったように各マシンはルーティンのピット作業およびドライバー交代のためにピットに殺到した。37号車Keeper TOM'S RC Fも例外ではなくピットに入りドライバーをカルダレリ選手から平川亮選手に交代。燃料を補給し、タイヤを4本交換してすばやくピットを出る。3位の順位をキープしたままコースに復帰したものの、64周目にピット作業違反によりドライブスルーのペナルティが提示される。

ピットに戻り、ストップしたもののエンジンを停止しない状態でジャッキアップし、そのまま作業に入ったことがピット作業違反となってしまった。ピット作業を済ませて既に33周を過ぎての違反通告である。それまで3位の位置を守りながら順調に推移して走行していたが65周目にペナルティを消化。順位を大きく落とす結果となり、8位まで後退。落胆したわけではないが、ラップタイムも上がらず73周目には9位に後退しそのままチェッカーを受けることとなった。

何とかポイントは追加したものの、シリーズランキング7位まで後退した。トップとは15ポイント差ながら、まだ2戦残っているほか、次戦のオートポリス大会ではハンディキャップ・ウェイトは半減されることから、36kgのウェイトだけですが、燃料流量規制もなくなるため、チャンスはまだ残っている。次戦の九州オートポリスでの巻き返しを図りたい。

